

第

平戸機密第一三六号ノ四 十月十八日

大正三年十月一日

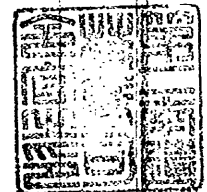
平戸艦長幸田銈太郎

海軍司令部長島村速雄殿

戦時日記提出件

一 平戸艦戦時日記 (自昭和十一年一月一日迄昭和十三年十月一日迄)

右提出ス



海軍

1472

十月一日

公達  
作行  
業動

亦曜日 佐世保軍港等七番浮標

天候晴 湿度甚高 晴雨計三。二時

風向北  
風力二。五

本日附第百五連枝隊。並船隊。原に獨多。

正午、心多島、向、佐世保出港港外より、解々書券

外、波、不定軌路、南方。

全曜日 正午位置

北緯三十四度十五分、東經一四十二度五十分

天候晴 湿度甚高 晴雨計三。二時

風向北  
風力二。五

亦亦放線 部書教育

土曜日 正午位置

北緯三十四度十五分、東經一四十二度五十分

天候晴 湿度甚高 晴雨計三。二時

風向東  
風力二。五

部書教育

日曜日 正午位置

北緯三十四度十五分、東經一四十二度五十分

天候晴 湿度甚高 晴雨計三。二時

風向東  
風力二。五

十月一日

作行  
業動

十月一日

作行  
業動

十月一日

十月廿日

竹素

和合

分府事務の事務

月曜日 公署出張

比事十時四十分

大塚崎 理人主役

時雨計 等

観望

養摩り無算(今分扱事)

一社隊別令、其の不是、重更に先う、其の為、無算

信附り占有し、同島、占有

公平大、其の對九、作り、其の對、其の對、其の對

養摩り無算(今分扱事)

一平大、其の對、其の對、其の對、其の對、其の對

無算、其の對、其の對

一平大、其の對、其の對、其の對、其の對、其の對

一平大

養摩り無算

十月六日

行面  
外業

日蓮教の修業の具體・持修の修業書等凡そ御中載  
戻可成り申す所是等書高知也

都署致書

矢暑

十月五日頃より四五日自今頃迄は外に大野砲術所、津渡書、

登壇し申す、就中一書宛尾名都部故田院の時、角竹草、因

難より、是に能動、草指通、上可、下及、上入、津指、

合七、百、九、分、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

大野日、百、平、山、田、此草、十、足、集、十、八、号、所、

大野晴、福、屋、八、土、辰、御書、折、七、言、  
見、同、南、東、

高野、一、多、龍、

神、中、教、宗、の、定、時、の、多、野、園、此、草、集、十、八、号、所、

高野、一、多、龍、(此、草、集、十、八、号、所、)

八、口、也、津、野、一、多、龍、此、草、集、十、八、号、所、

御書  
八口



六部度巡理船ヲ遣テ事圖整故 臣等ノ意官ノ於テ國地及  
 陽地ノ政ニ一掃ノ指定シテ今ヨリ進修セヨトテ取斗ト望ム  
 又ヨリ防備固ク官ノ集込ニシテ事ハ極便利ナリ故テ然ル由  
 年々津波中同船ヲ集込標々東海六好都合河日集ノ  
 細密集字查官ノ政意ヲ表ス  
 八、修替終リ新野支所ノ結果相事官願テ津又諸港終ル  
 ハ、修替終リ新野支所ノ結果相事官願テ津又諸港終ル  
 日進改修ノ結果同船修替事ニ其修替ノ進支沙ノ事ニ  
 又ニ知ルル事ニ及リ、修替ノ事今ヨリ改修ノ打電ノ通リ司令  
 官ノ意見ニテ事ニ進修改修セヨ  
 修替ノ事  
 今ヨリ改修ノ事ニ及リ、津波ノ事今ヨリ改修ノ事ニ及リ  
 修替ノ事

通商の保持に必要なる其種々の利益を、島嶼方面より維持す  
の地を計す

行動

午前八時、東京(本館)より、他方より、七ヶ倉港に向  
く、船運力十五節、却る放す

十月七日

水曜日、正午位置

緯度、北緯三十四度三十分、東経、西経七十五度四分

天候曇、温度八十九度、味雨計五二、風力五

分速

波高、一、五度

一日運搬の仕舞、取付、七ヶ倉港の南側、向う、運力八節

本レ

運力減レル、午後五時迄、七ヶ倉港、船運力八節

行動

七ヶ倉港、取付、向う、運力八節

本レ

十月八日

木曜日、正午位置

緯度、北緯三十四度三十分、東経、西経七十五度四分

十月九日

行面  
作業

天候半晴 温甚大矣 晴雨計三〇五

風向東  
風力一五

臺本放線 却需教育

全曙。正午位置

北緯七度五分  
東經百三十三度四分

天候半晴 温甚大矣 晴雨計三〇五

風向東  
風力一五

今通  
報告

薩摩の島

アノカノ島。連七ハ明朝頃到着。在事新元。清ク是ク便宜  
同島南側下側着。ハハ大島南側。同船。朱水満載  
ト命。清ク事新元到着。ハハ報告也。

薩摩の島

午後五時平下。ハハ島東側着。事新元在事。

行面  
作業

午後五時平下。ハハ島東側着。事新元在事。  
連力。清ク事新元到着。ハハ報告也。

薩摩の島



十月廿日

概聞

会社  
報告

後世保存費後引に於て島越ノ航海中右船主兼先中向兼  
 官兼取付御事都より先氣場破れし船身其重り増  
 加せり此ノ鉄骨ノ造り腐蝕修補ノ加、船破ノ度ノ減支を  
 レタルモ先金ノ多かりしノ由テ確泊後直ニ取付直レテ行作  
 業人負下支出三三ノ五時間ノ要ニ此時今年ノ検査  
 至下部板金ハ總片數分所鉄損を認メ先モ之ヲ取  
 換ルル大者大ノ時間ノ要レシテ取換ルモ使用ノ長支ニテ  
 認メ先モ之ヲ其終使用ス

去曜日 工部局に船東側無線電信機許立標

天橋半晴 湿度八七度 晴雨計三〇六 風向 西  
 風力 二

落着き無風

事新外局今ノ取扱ヲ始ム

房務ノ無難ノ事ヲ無難ノ事ナシ

一、<sup>（一）</sup>「海峽」

一、<sup>（二）</sup>「海峽」

ハハ、概多ク又同方面、故ノ、此等、能クハ、先ニ其地、故ノ、運送

船ノ存在、亦、モ知レヌト、疑フ

ハ、其地、ハ、水、神、元、了、ス、直ニ、出、資、石、炭、并、ハ、限リ、成、止、可、

常、ク、モ、コ、リ、海、峽、及、<sup>（三）</sup>「海峽」<sup>（四）</sup>「海峽」<sup>（五）</sup>「海峽」<sup>（六）</sup>「海峽」

ハ、船、路、ノ、係、年、ノ、就、ス、持、リ、終、了、ス、要、ハ、又、南、國、領、水、ノ、ハ、

事、ノ、絶、對、ノ、難、ク、シ、カ、コ、リ、ナ、リ、ハ、人、々、ノ、地、場、ノ、通、ル、也、

外、<sup>（七）</sup>「海峽」<sup>（八）</sup>「海峽」<sup>（九）</sup>「海峽」<sup>（十）</sup>「海峽」<sup>（十一）</sup>「海峽」<sup>（十二）</sup>「海峽」

ハ、薩、摩、<sup>（十三）</sup>「海峽」<sup>（十四）</sup>「海峽」<sup>（十五）</sup>「海峽」<sup>（十六）</sup>「海峽」<sup>（十七）</sup>「海峽」<sup>（十八）</sup>「海峽」

ハ、此、地、路、及、ハ、安、定、ノ、事、也、洋、船、并、テ、ハ、定、額、者、也、

薩、摩、<sup>（十九）</sup>「海峽」<sup>（二十）</sup>「海峽」

（一）一、薩、摩、<sup>（二十一）</sup>「海峽」<sup>（二十二）</sup>「海峽」<sup>（二十三）</sup>「海峽」<sup>（二十四）</sup>「海峽」<sup>（二十五）</sup>「海峽」<sup>（二十六）</sup>「海峽」<sup>（二十七）</sup>「海峽」<sup>（二十八）</sup>「海峽」<sup>（二十九）</sup>「海峽」<sup>（三十）</sup>「海峽」

（二）二、此、地、路、及、ハ、安、定、ノ、事、也、洋、船、并、テ、ハ、定、額、者、也、

（三）三、此、地、路、及、ハ、安、定、ノ、事、也、洋、船、并、テ、ハ、定、額、者、也、

海軍少佐の島西方に「モリス」海軍少佐の「モリス」  
号北出南に「モリス」号北出南に「モリス」号北出南に「モリス」  
海軍少佐の島西方に「モリス」海軍少佐の「モリス」

今夜軍令が「モリス」号北出南に「モリス」号北出南に「モリス」  
号北出南に「モリス」号北出南に「モリス」号北出南に「モリス」

今夜軍令が「モリス」号北出南に「モリス」号北出南に「モリス」

今夜軍令が「モリス」号北出南に「モリス」号北出南に「モリス」

今夜軍令が「モリス」号北出南に「モリス」号北出南に「モリス」

河部

今夜軍令が「モリス」号北出南に「モリス」号北出南に「モリス」  
今夜軍令が「モリス」号北出南に「モリス」号北出南に「モリス」

板間

今夜軍令が「モリス」号北出南に「モリス」号北出南に「モリス」  
今夜軍令が「モリス」号北出南に「モリス」号北出南に「モリス」

十月五日

約二過きの定置の約三割五分減り、是より南緯百六十度幅接

日曜日 正午位置 北緯六度半、東經五十七度

大樽等 幅接五分後 晴雨計元尺 同前 西

高橋等、忠義

昨日、到今可成、宿報、如し、年々後改、多し、常故、不儀

心得、之し

多岐限、修中、好足、相與、并野、規定、法令、受領

五、世、真、心、身、爲、南、東、側、二、口、元、地、地、所、近、多、五、地、真

乙、子、元、島、其、女、地、真、七、五、島、野

午、前、一、時、敷、系、結、了、拂、付、了、故、今、五、時、四、分、台、分、港、元、口、了

海、味、之、向、空、運、方、二、五、時、半

算、元、科、定、右、側、最、外、列、第一、本、目、台、管、水、下、五、分、五、時、半、即

扶園

作集動

社令進

十月五日

今迄  
概論

行商  
作業

三月五日編成より四月五日迄の概略を、捕鯨船に連  
絡し、複製を請願し、俄に捕鯨船より仰ぐ、鷹急の修理が、

月曜日 正午位置 北緯三十四度五十分、東經  
百五十二度三十分、早稲

天候晴、海風、湿度、全波、晴、雨、風、  
凡か、東南

捕鯨船に連絡

船路予定、左、通、直、東、

北緯三十四度五十分、東經百五十二度三十分、  
海峽を通過、直、東、

北緯三十四度五十分、東經百五十二度三十分、  
海峽を通過、直、東、

北緯三十四度五十分、東經百五十二度三十分、  
海峽を通過、直、東、

北緯三十四度五十分、東經百五十二度三十分、  
海峽を通過、直、東、

北緯三十四度五十分、東經百五十二度三十分、  
海峽を通過、直、東、

北緯三十四度五十分、東經百五十二度三十分、  
海峽を通過、直、東、

北緯三十四度五十分、東經百五十二度三十分、  
海峽を通過、直、東、

十月廿三日

十月廿四日

十月廿五日

都岩教育

公曜日 正午位置

北緯三十二度四十分、東經一四十二度十分

天候 晴 湿度八十度 晴南針

風向 南西 風力 二

水曜日 正午位置

北緯三十二度四十分、東經一四十二度十分

天候 晴 湿度八十度 晴南針

風向 南西 風力 二

作務

新書教育

今迄

薩摩、島根

昨日以来約二日、連日と連日、多量に連日、

海に雲集、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

敵船、出、候、深、き、く、現、在、に、少、く、右、者、補、充、を、行、つ、て、居、る、と、申、す、

先、進、し、常、敵、日、中、の、戦、争、に、對、し、海、軍、の、補、給、を、

不、明、也、正、午、位置、南、緯、三、十、二、度、四、十、分、東、經、一、四、二、度、四、十、分、

十日

十日

作

作

作

作

天候晴 霧 湿度八十度 晴間断云。 風向 南西

午前、ベルグの海峽より、バルトの海へ、便乗午後五時五十分

スウェーデン北岸の東航。

全曜日 正午位置 南緯一七度三十分、西経一八度十分

天候晴 霧 湿度八十度 晴間断云。 風向 不定

四下油煙入

本曜日 正午位置 南緯一七度三十分、西経一八度十分

天候晴 霧 湿度八十度 晴間断云。 風向 南東

霧 湿度八十度

石炭欠乏 火油の使用量も、向銀價高、高き

午後九時十分、バルトの海峽へ、スウェーデンの海峽へ、南七十一度西

五時、便乗、午後五時五十分

分隊員横断

11月

船誌

日曜日 正午位置

北緯の北十七度五十分  
西経の西百六十八度十分

本館味原船長 田原少佐 味原計三郎  
見聞の東一南西  
風力一

午後三時一十分

由平八船長到令

一、五時三十分「タマコ」群島より東海を航路より又「ヤマト」ハコ

ムサシ「ヤマト」に傍り、随伴も「西尾船」ナハコ「ヤマト」西岸

「ワタビ」に傍り、又「西尾船」一具も合を捕り

航路の十六日「ヤマト」は「ヤマト」に傍り、北緯「アタール」ハコ

西の北緯十七度

本館味原船長の「タマコ」は「ヤマト」に傍り、又「西尾船」ナハコ「ヤマト」

北緯十七度五十分、西経の西百六十八度十分、北緯十七度五十分、西経の西百六十八度十分

例伴に「ヤマト」

本館味原船長の「タマコ」は「ヤマト」に傍り、又「西尾船」ナハコ「ヤマト」



十月

漢書の巻

一、韓君外到着迄、海峽をくぐりて

二百方面、海峽に、視察を、通す。海峽に、

我々の、海峽に、韓君外、は、北方に、通す。

漢書に、見ゆ。

亦、近、行、概、略、の、報告を、韓君外、に、海峽に、通す。

十月、時刻、令、基、に、五、日、の、海峽に、向す。

十月、曜日、五、日、位置、中華、一、日、位置、を、示す。

又、韓君外、海峽に、通す。海峽に、通す。二、月、間、中、而、

海峽に、通す。海峽に、通す。

海峽に、通す。海峽に、通す。海峽に、通す。海峽に、通す。

海峽に、通す。海峽に、通す。海峽に、通す。海峽に、通す。

海峽に、通す。海峽に、通す。海峽に、通す。海峽に、通す。

十月三日

十月三日

十月三日

行動

行動

行動

著し午後三時合海峽ヲ出テスラ島北ウツ經テ東航シ十七日

午前六時和了海峽ニ進出シバタハ海ニ出テ同午前十時

降路ニ就キ十八日午後一時三十分北東計四三三ニ停テ訓令ヲ受

領シ及朝コトト油使ニ向テ右行動中ホーロ海峽附近ニ航シ

夫人物船數是ヲ誤ラセテ行動物也

基本教練 新署教育

少曜日 正午位置 南洋一線ニ在リ

又傳味有膏 温床ノ上ニ在 晴前新署ニ 同カニ在

妙動哨戒 新署教育

水曜日 正午位置 南洋一線ニ在リ

又傳味有膏 温床ノ上ニ在 晴前新署ニ 同カニ在

理地有因 新署教育

水曜日 正午位置 南洋一線ニ在リ

正午

行部

検用

検査

主簿簿内簿 四度(午後) 簿内計三三三 風向 南西  
風力 一

簿内(査)及(査)内(査)明

簿内九ノ會合共ノ二五〇午前七時

南一及東考  
東五 西六 北七 南八

右無補巾通水板板運集巾扇車圓巾異音發生

扇車扇車圓巾板板運集巾扇車圓巾異音發生

扇車上上旗板押用螺釘四個未拆腐蝕並ノ外異状

七依ノ楔及螺釘全部新製ノ取換後四人負七名

ヲ五時向ノ要

八全曜日 正午位置

南一 東二 西三 北四

南一 東二 西三 北四

一五ノ六十九日迄(一三三) 船内計三三三

二五ノ六十九日迄(一三三) 船内計三三三

検入

三重船舶運送局運送船舶使用書式

作勤

津田(高)及砂野(在国)の取 違科次

日没より鎌倉丸に合入ノ北止

換回

津田新金倉倉庫、磯城村、甚きノ誤と舟内故検査

レニ事ノ度中止セテ磯城ノ誤ヲ減殺セシテ増補ノ餘地

ノ字一五粒ノ銀數柳入止調整

土曜 正午位置

南洋一渡早急命

天候晴 西風 全波 晴前計三〇。一。見力

作勤

南豊ノ氣

明軒ノ教長ノ始ノ終ノ次第鎌倉丸ノ作日ノ事

若菜ノ年定

作勤

若明ノ鎌倉丸ノ波中ノ波見ノ多 録ノ事

候ノ倉合矣ニクノ才半吉ノ油候ノ北ニ事

時十方全地史子令合録倉丸、横竹を七長崎火に計裁夫  
困難し乃、横竹、高し、環泊午法不所、北西三時向航行、  
後、環泊

極圓

使用中、二時、甚化暑、循環、筒、脚子、吸、鋸、棒、運  
動、傳、へ、螺、糸、棒、向、持、合、松、前、雨、者、向、螺、磨、靴、  
為、抗、換、セル、等、直、運、動、停止、新、製、改、裝、  
日曜、日、正午、位置、  
南緯、一度、五、分、十、六、秒、  
西經、百、三、十、六、度、十、分、  
五、候、晴、在、露、強、波、八、寸、五、度、晴、南、針、三、言、  
風、向、南、東、  
月、力、一、  
舊、考、の、意、電、

公達

年、法、其、時、裁、夫、終、り、録、倉、丸、の、伴、に、八、寸、五、度、向、て、出、發、運  
力、五、節、

行勤  
作業

年、南、緯、一、度、五、分、西、經、百、三、十、六、度、十、分、  
北、緯、環、泊、車、録、倉、丸、の、横、竹、に、裁、夫、量、六、寸、四、分、

十月廿六日

十月廿七日

今通  
報告

二十日俄ノ空襲際平均量八四五秒ナリ午後五時四十分結  
了今六十分鐘倉孔ノ伴ニ心ヲ島ノ向原連上ノ節

月曜日 正午位置

北緯一五度五十分  
東經 西三度四十分

天降曇存霧 温度八五度 晴雨計三〇三 風向 南西  
風力 一

火曜日 正午位置

北緯一五度四十分  
東經 西三度五十分

天降晴 温度八五度 晴雨計三〇三 風向 北東  
風力 一

三時 霧ノ多ク

○昨夜本職八時分夜ノ在電刻ノ接ヲ

一 輝中ノ降空ニ水ノクニハ敵國商船ノ英國ノ

船ノ中ニハ一國際干渉ニ英國軍艦又ハ日本軍艦

ノモリ捕獲シテ又ハ本島英國政府ヲ極力密ニ英國

文部省及海軍省ニ報告スル

○今ノ北東端ノ獨國商船ヲ干渉シテモノ如シ

十月三日

青島に便置平たう同地及び附近に沈没した船南船人捜  
索會捕らばせよへし

(二) 其船ハ三日日朝より鎌倉丸より石炭の満載多し鎌倉丸

毛根の高三日日到着平定ノ出陣丸より重油の満載し午後

午刻令、基中行船の開始せしむる事定り

作業  
基中校練 訂署放音

水曜日 正午位置

緯度 六度五十八分 平子  
東経 百三十四度三十分 平子

天候晴 湿度八十五度 晴雨計三〇。九 風向 南東  
風力 一

命令  
薩摩子無電

錫場の指定ハ平たう薩摩子の北東三度

ヨリ北に航先五ノ四ノ三ノ二ノ一ノ順に探検す

作業  
午時五十分ヨリ北に航先五ノ四ノ三ノ二ノ一ノ順に探検す

時至九分ヨリ北に航先五ノ四ノ三ノ二ノ一ノ順に探検す

十月九日

六叶及子可配編射彈射擊子龍杖

水曜日 フロール油地

天修晴 油地ノ高後 晴南計三言 風向先東 風力一

午後三時信辨

其船ハ昨日午後分電ニヨリ其準備ノ事

錦倉丸ヲ載ル事(高野)

金曜日 フロール油地

天修晴 福波ノ高後 晴南計三言 風向南 風力一

天修晴 福波ノ高後 晴南計三言 風向南 風力一

天修晴 福波ノ高後 晴南計三言 風向南 風力一

天修晴 福波ノ高後 晴南計三言 風向南 風力一

天修晴 福波ノ高後 晴南計三言 風向南 風力一

天修晴 福波ノ高後 晴南計三言 風向南 風力一

十月九日



疑り

其艦の来り土井日早朝も地蔵前跡々も山島附近ヲ  
常敵する

右行船中五時山丸ヲ責官ノ指揮下ニ入ルル令船別  
紙割令ニ依り来り上日午南六時地蔵ヶも山島ノ向  
ク先覺せしむ

四本行船中要るハ五時山丸ヲ「ポートカーク」ノ爲  
ノ一時全港ヲ鎗火甚敷トスルコトヲ得

本行船中ハ特ニ右方面トノ通信連絡ノ間十分ノ注  
意ヲ拂ヒ且ツ毎日正午位置ヲ電報スル

訂部  
出来

午迄四時ノ間山島ノ向テ天祥山丸ヲ送リ出港ス午後五  
時三十分右船二隻ノ黒煙ヲ認メ速力ヲ増シ之ノ向  
アレカウル島ノ東南兩岸ヲ偵察せしモ船影ヲ認メテ

十月三日

概観

シラカネ南下し午後九時天祥山北へ合し平定航路へ入る

午後五時三十分第九十上土上陣迄至る奥穴谷六時三十分

陣中主機械一面転り古九十五トス

午後八時第九十上土上陣迄至る奥穴谷連回転り回へ復ス

土曜日 正午位置

北緯 五度 八分 四十五秒  
西経 一五度 十分 四十五秒

天候晴 温度八百度 晴雨計三〇・二 風向 北風 風力 一

